コスガ工務店様 東伏見の新築住宅を見学しました



【屋根回りに施工されたシュタイコ木繊維断熱材フレックス】

地域工務店であるコスガ工務店(東京都西東京市、小菅満治代表取締役)が建築中の東伏見の新築住宅を見学させていただきました。西武新宿線の東伏見駅から徒歩圏で近くに緑豊かな公園もある好立地の邸宅です。

天竜材を使った総 2 階建て木造軸組住宅で、延べ床面積は 35 坪弱。この邸宅の屋根および壁にドイツ製のシュタイコ木繊維断熱材を全面で使用していただきました。屋根は、二重断熱施工で、上に比重の高いシュタイコ木繊維断熱材プロテクトを 40 枚ほど、その下にシュタイコ木繊維断熱材フレックス 430 ヶ幅を 105 枚施工しました。壁にはフレックス 430 ヶ幅、390 ヶ幅合計で 290 枚ほど使用しました。

まさに木繊維断熱材で邸宅全体を覆う手法です。

小菅社長がシュタイコ木繊維断熱材を採用するのは今回が2棟目です。先に竣工した所沢 の住宅は既に施主さんがお住まいになっていますが、冬の寒さに対し、十分な断熱性を発揮 しているとのことでした。小菅社長は「今回の住宅もそうですが、木繊維断熱材の最大の特徴である熱容量の大きさと熱拡散性能の小ささ、それと自然素材の強みである湿気を通す透湿性能、日本の蒸し暑い夏場に木繊維断熱材がどの程度力を発揮してくれるのか注目点です」と語ってくれました。

また、2棟目ということで施工上の工夫が随所にみられ、施工速度も格段に向上したそうです。併行してドイツ製のウルト社高耐久透湿防水ルーフィングシート、可変調湿気密シート、透湿防水シート、高機能可変調湿気密シート、電気配線用気密防水スリーブ、シート固定用気密防水テープなども採用していただきました。

当社ではシュタイコをはじめ、国産材針葉樹人工林を原材料とした国産の木繊維断熱材の取扱いも開始しました。ドイツからの輸入は到着までに長時間を要すること、為替や海上船運賃等の外部要因に影響を受けやすいことから、シュタイコ木繊維断熱材を在庫する一方、供給安定性や国産材であること、短納期で納品できることなどでメリットがある国産木繊維断熱材も今後、販売を強化していきます。

資料やカットサンプル等のご用命はお気軽に当社までご連絡ください。



【シュタイコ木繊維断熱材施工の様子、片流れ屋根部位】



【シュタイコ木繊維断熱材施工の様子、フレックスの下を板材で仮押さえ】



【シュタイコ木繊維断熱材施工の様子、壁にもぐいぐい押し込んでいる】



【シュタイコ木繊維断熱材施工の様子、右はウルト社の防水テープを開口部に施工】